

文部科学省 職業実践力育成プログラム(BP)認定
「保育・子育て支援ラーニングプログラム」シラバス
(お茶大 ECCELL 社会人プログラム)

【後学期】

基礎科目：乳幼児教育論 A/B

シラバスに関する問い合わせ先 ECCELL 事務局 nyuyoji-reply@cc.ocha.ac.jp

乳幼児教育論 A/B

日程：A：11月2日、16日、30日、12月14日

B：1月11日、25日、2月8日、22日

水曜日：19:45～21:15

「乳幼児教育論」は全8回、Zoomによるオンライン授業で行いますが、前半4回（A）、後半4回（B）だけの受講もできます。

※2021年度前学期以降にBP登録し、履修証明書取得を考えている方は、両方とも受講してください（BP基礎科目：12時間）。

担当：浜口 順子（お茶の水女子大学 教授）

主題と目標

オンライン公開されている雑誌『幼児の教育』を読みあいます。同誌は、1901年に『婦人と子ども』という誌名で現職保育者と研究者による研究会の機関誌として創刊されて以来、現在まで刊行されている日本でもっとも歴史の長い雑誌の一つで、約120年間におよぶ保育現職者や学識者、保護者や他領域の専門家にいたるさまざまな執筆者の文章にふれることができます。受講者の関心や研究テーマを反映させながら、記事を選び、読みあいながら、子どもや教育への知見をひろげ理解を深めることを目的とします。

教科書・参考図書

雑誌『婦人と子ども』（1901～1918）、『幼児教育』（1919～1923）『幼児の教育』（1923～）

＊バックナンバーを下のURLから検索。

URL: <http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/52377>

評価方法・評価割合

レポート 40%、授業への参加態度 60%。

授業計画

【乳幼児教育論 A】①120年間の『幼児の教育』誌を検索サーフィンしよう

②昔の保育と今の保育を比べてみよう

③受講者それぞれの関心から雑誌記事を選び、相互に発表する (1)

④受講者それぞれの関心から雑誌記事を選び、相互に発表する (2)

【乳幼児教育論 B】⑤『幼児の教育』の記事から保育記録を読む (1)

⑥『幼児の教育』の記事から保育記録を読む (2)

⑦受講者それぞれの関心から雑誌記事を選び、相互に発表する (3)

⑧受講者それぞれの関心から雑誌記事を選び、相互に発表する (4)

時間外学習

課題文献を読み、考えをまとめる。また関心のある記事をバックナンバー検索する。

学生へのメッセージ

『幼児の教育』誌の記事にあたりながら、現代の保育の問題、子どもの在り方について、日本の戦前から戦後の幼児教育思想を辿りつつ考えていきます。学部生も受講できますし、科目等履修による外部からの保育関係者の受講者も多いので、ディスカッションじたいから多くの学びがあると思います。日々の保育実践や子ども観を見直す機会になればと思います。